

## 平成19年度実施事業 事業評価シート

<b>事業名:</b>	憩の家管理運営事業	2-33
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	2
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	72-6121
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	沢田 茂明
		担当者	大浦 正美

1 事業のアウトライン			
(1) 事業概要及び交付金額等の積算根拠	市内に居住する60歳以上のものを対象として、教養の向上や地域社会との交流を図り、健康と福祉の増進を図る「憩いの家」の施設管理を行う。		
(2) 事業開始年度	平成元年度	(3) 事業終了年度	未定
(4) 総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康であわせに暮らせるまち	
	施策項目(大)	(2) 高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	魅力あるまちづくりの推進	
	施策コード	20203	

2 事業の内容	
(1) 事業の目的 何のために	市内に居住する高齢者に対し教養の向上、レクリエーション及び地域社会との交流の場を提供し、高齢者の心身の健康と福祉の増進を図るため。
(2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	利用者が安全・快適に利用できる環境整備に努める。
(3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	指定管理者に委託し施設管理運営を行っている。
(4) 19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	「憩いの家」の入浴料(100円)の有料化
(5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	「寿の家」の管理運営事業
(6) 事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区 分	H17	H18	H19	H20 予算
(1) 直接事業費(千円)	6,397	3,156	3,174	2,900
(2) その他の間接経費(千円)	0	0	0	0
(3) 従事正職員の人件費(千円)	1,295	1,243	1,346	1,346
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	7,692	4,399	4,520	4,520
事務に従事した正職員延べ人数	0.15	0.15	0.15	0.15

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
収	区 分				支	区 分				
	H17	H18	H19	H20 予算		H17	H18	H19	H20 予算	
	市補助金等(A)				運営費					
	計(B)	0	0	0	0					
	(A/B)					計	0	0	0	0

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
花川北憩いの家開設日数(日)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	295	295	294	294
	達成率	-	-	-	-
厚田憩いの家開設日数(日)	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		88	95	95
	達成率		-	-	-
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果 (単位:千円・%)					
成果指標名		H17	H18	H19	H20
花川北憩いの家1日当たりの利用人数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	94	99	95	
	達成率	-	-	-	
厚田憩いの家1日当たりの利用人数(人)	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		18	20	
	達成率		-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価 担当課長が評価します。					
(1) 必要性		(4) 有効性			
ア 市民ニーズ 社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	1 大きい	2	ア 施策との関連 事業の成果と施策の成果とに関連があるか	1 密接な関連がある	2
	2 普通			2 関連がある	
	3 小さい			3 関連はほとんどない	
イ 市の関与 その事業に市が関与する必要があるかどうか	1 行政にしかできない	2	イ 成果 事業の成果は目標を達成しているか	1 すべて達成している	2
	2 民間等でもできる			2 一部達成している	
	3 民間等でやるべき			3 達成していない	
(2) 効率性		(3) 公平性			
ア コスト削減 コスト削減は可能か	1 不可能である	2	ウ 事業内容 目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適切か	1 極めて妥当	2
	2 難しい			2 一定の妥当性あり	
	3 可能である			3 妥当性が低い	
(3) 公平性		(1)~(4)の評価ポイント合計			
ア 受益者負担 さらなる受益者負担は可能か	1 不可能である	2	総合評価の参考にしてください。		14
	2 難しい		7~11	A or B	
	3 可能である		12~15	B or C	
		16~21	D or E		

8 課長評価 担当課長が評価します。			
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	地域の福祉行政の拠点として適正に管理運営されている。	
	(2) 今後の方向性・課題 高齢者等の対象者が増加する状況に対応しながら継続していく。		
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
(1) 平成19年度事業の総合評価			
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	地域高齢者の憩いの場として管理している。	
	(2) 今後の方向性・課題 計画的な維持補修を行い、地域に広く開放された施設として利用促進を図る。		
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		